

警備現場の隊員管理でこんなお悩みありませんか？

隊員からの上・下番報告の
電話が集中し、管理が大変



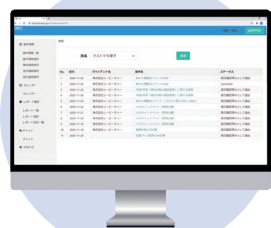
勤務実績から手作業で請求書を発行

隊員のシフト確認をアナログで集計

「カンタン」操作で、お悩みをすべて解決！

プロキヤス警備は、このような悩みを解決できるオールインワンシステムです。
自動でシフトを管理し、上・下番報告がボタン1つで完結され、隊員の登録情報を全社で共有できます。
これにより、自社の業務効率化を実現します。

レポートの
カスタマイズ自由



前日の勤務確認や
上番・下番報告も電話いらず！

隊員は当日あらかじめ設定した起床・出発
時間に自動で通知が届き、上番・下番を
ボタン1つで行うことができます。

給与を
自動計算



スケジュール
管理可能

隊員からの希望シフトの提出や
管理側での確認もカンタン！

アプリのカレンダーから希望シフトの提出が簡
単に可能。カレンダーから勤務決定案件の
スケジュール確認もできます。

隊員の
給与計算も簡単



隊員の稼働実績を一発確認
請求額の自動算出、請求書発行もらくらく

勤怠報告から自動で稼働時間を算出。
その情報をもとに請求書の発行が可能。



隊員配置機能



上下番管理機能



請求書作成機能



給与管理機能



警備報告書提出機能



警備業界のDX! クラウド管制システム

プロキヤス 警備

導入者数 **200** 社対比 %増

IT導入補助金認定ツール

管制業務時間 月間 **60%** 削減

※隊員90名、管制担当者3名の場合

業界最安水準



TEL.03-6278-7379

<https://keibi.pro-cas.jp>

プロキヤス警備

検索



株式会社シービーティー

〒104-0045 東京都中央区築地3丁目11番6号 築地スクエアビル8階
Mail: info-procas@cibtinc.jp

試用版アプリ配信中！



警備業界

DX

マガジン

2024 - 秋 -

特集

隊員の仕事に対する満足度はデジタル化と比例するのか？

警備業の満足度と業務の
デジタル化「実態調査」

お客様の声

隊員への連絡・管理がシステム化され
管制担当者の業務時間が大幅に削減

隊員にも新しいシステムが
定着し活き活きと仕事している

ヒューマン警備株式会社
管制担当 柴田氏



インタビュー

警備業界の有効求人倍率は「7.43倍」

人材不足が大きな課題！
DX化で解決できるのか？

株式会社シービーティー
平野 隆之氏

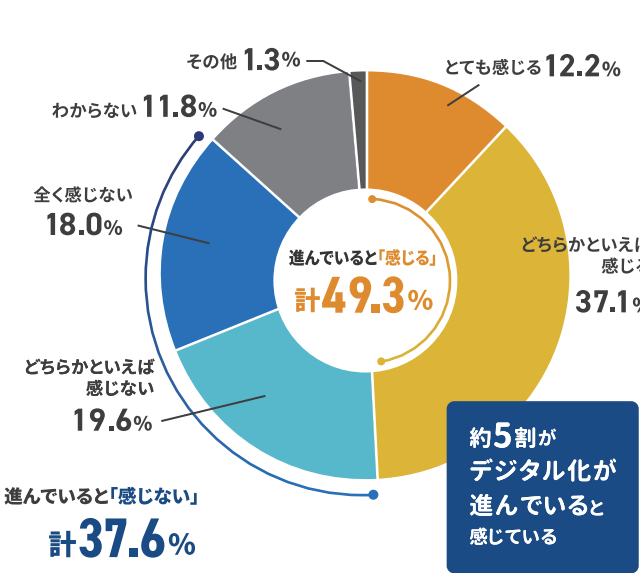


慢性的な人手不足と進む高齢化により警備業界も働き方改革が急務に！

警備業の満足度と業務の

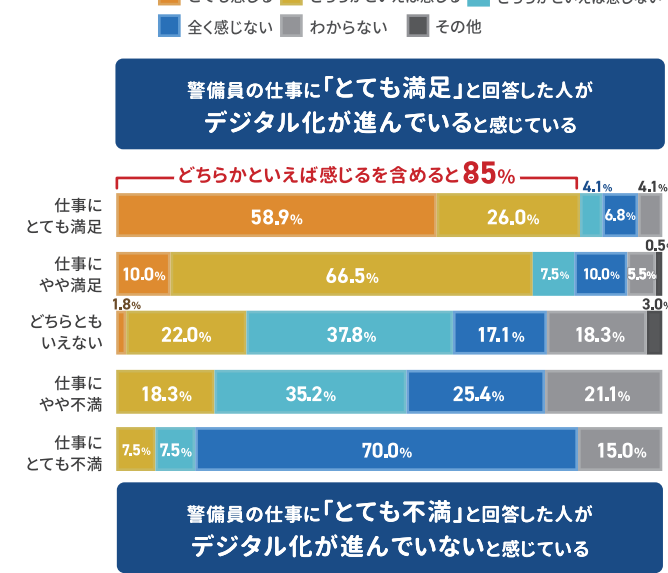
今年度から労働者に時間外労働の上限規制が適用され、収入減少、離職や人材確保困難による人員不足、人材の高齢化などが問題視される「2024年問題」が現実のものに。警備業界でも、さらなる人材獲得の困難が予想される中、業務のデジタル化をはじめ、AI 技術やドローンを活用した警備が行われるなど、少しずつ DX 化が進んできています。そこで、今後の変革や見ししのポイントを探るべく、プロキヤス警備では警備業就業経験者に業務のデジタル化と仕事の満足度について調査。データから見る先の、そのヒントをご紹介します。

Q1 勤怠やシフト管理するシステム導入など業務のデジタル化は進んでいると感じますか？



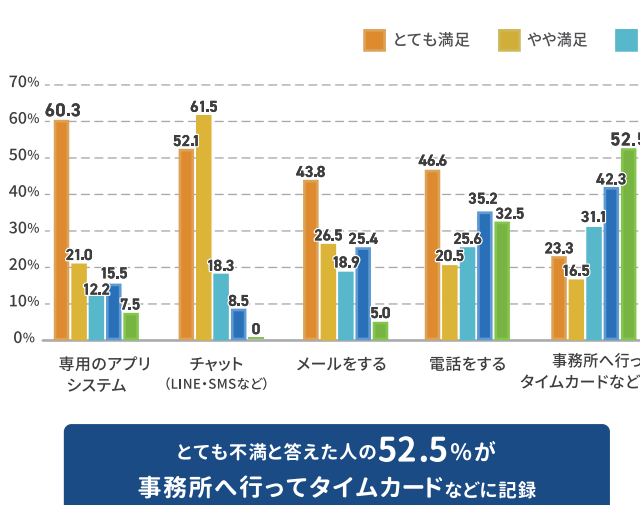
→ 業務効率化のためのシステム導入・活用しデジタル化が進んできている

Q2 仕事の満足度と業務のデジタル化の相関関係



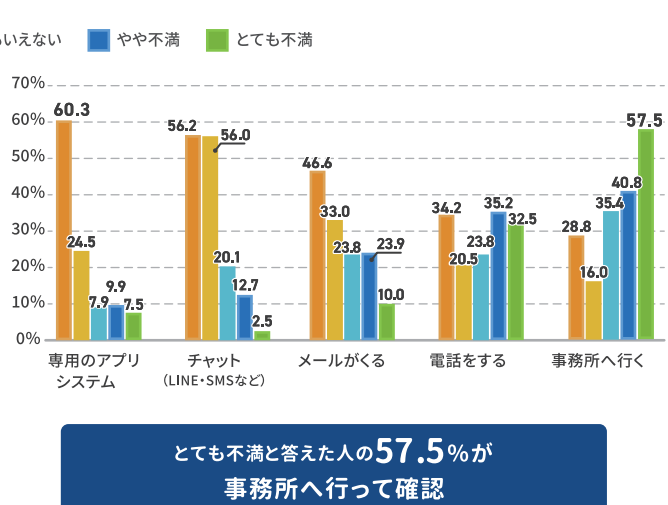
→ 仕事の満足度は「業務のデジタル化」と関係している

Q3 「出退勤方法」について、当てはまるものをすべてお選びください



→ アプリやシステムを導入して管理している警備会社に所属する人は、仕事に対する満足度が高い

Q4 「シフトの確認方法」について、当てはまるものをすべてお選びください



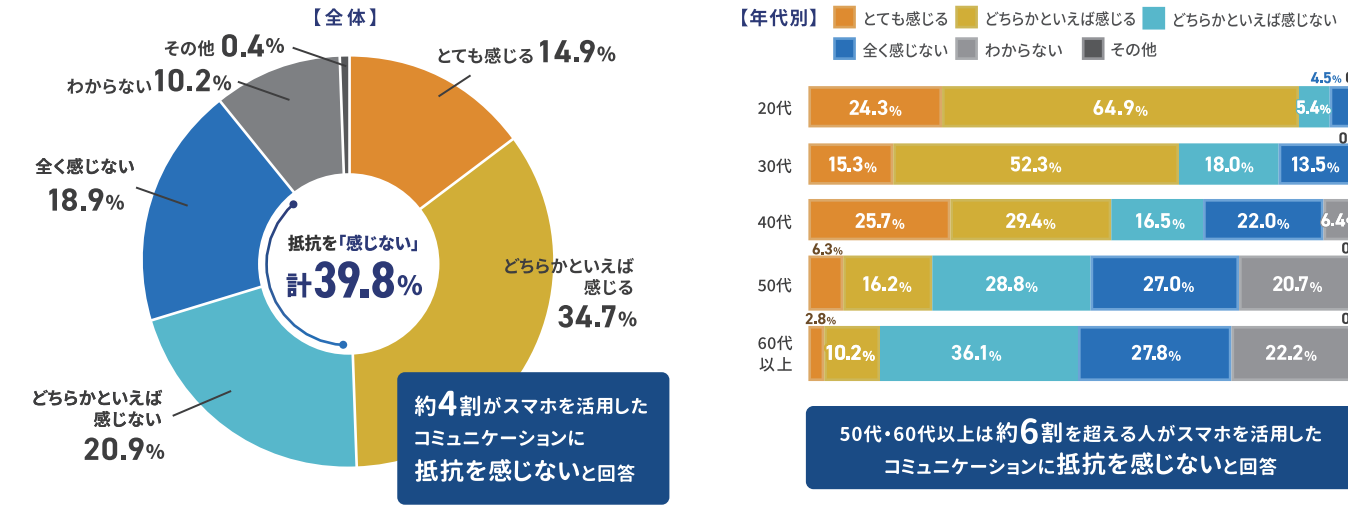
隊員の仕事に対する満足度はデジタル化と比例するのか？

デジタル化「実態調査」

■調査概要

【調査方法】インターネット調査 【調査地域】全国 【調査期間】2024年4月17日(水)～4月19日(金)
【調査対象】47都道府県在住の警備業就業経験者20代以上の男女(年代均等割付) 【サンプル数】550人

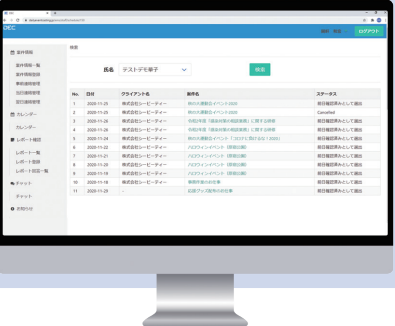
Q5 所属する警備会社とスマホを活用した打刻作業や報告などのコミュニケーションに抵抗を感じますか？



→ 高齢化が進む警備業界だが50代以上も業務のデジタル化に前向きである

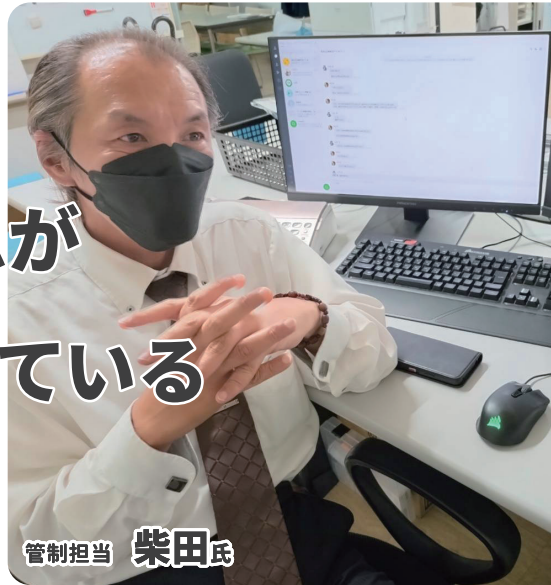
プロキヤス警備で実現する、デジタル化隊員も管理者も負担軽減へ

- 隊員配置** ・見やすい・使いやすい操作画面で案件ごとの配置が簡単でスムーズ
- 上番・下番報告 (勤怠)** ・ボタン1つで隊員から通知されるので、管制担当者の負担が軽減
・前日確認や当日の起床・出発確認が隊員のモバイル端末でできるので電話やメールなどの対応が最小限に
- 隊員管理** ・年齢、身長などの基本情報や資格保持の有無など隊員のスキル情報から過去の案件実績などを一覧で確認
- 給与管理** ・月額、甲欄、乙欄や日額の丙欄など様々な給与計算に対応
・稼働実績をリアルタイムで確認できる
- 請求書作成機能** ・稼働実績をもとに、請求書発行が可能



隊員への連絡・管理がシステム化され 管制担当者の業務時間が大幅に削減

隊員にも新しいシステムが 定着し活き活きと仕事している



管制担当 柴田氏

■企業概要

【企業名】ヒューマン警備株式会社

【事業内容】施設・駅・イベント警備、交通誘導警備、等

【稼働隊員数】月間900名

交通誘導警備、雑踏警備を中心に、人や車両が集まる場所での事故を未然に防ぐべく、幅広い警備業務に携わっている『ヒューマン警備株式会社』。現場で働く隊員はもちろん、隊員を管理する側も、各現場の状況を把握して迅速に対応する必要があるため、日々、多忙を極めています。そこで、隊員の配置管理を少しでも簡易化するための方法を模索していたところ、「プロキヤス警備」の存在を知り、導入を即決したと話すのは、同社で管制業務を担当する柴田健一郎さん。システムのどんな点に魅力を感じたのかを伺っていきます。

「プロキヤス警備」導入前は隊員との コミュニケーションにはLINEを使っていた

「プロキヤス警備」導入前はどのようなシステムやツールで隊員の上番・下番を管理していましたか？

電話以外にシステムやツールなどは何も使っていませんでした。唯一使っていたのはLINEです。業務前日にLINEで場所と時間を送って、当日、到着したら隊員から事務所宛てに、到着した旨をLINEしてもらう。上番に関してはそれだけです。間違いなくそこに到着していることを確認するために、現地で、店舗名が書かれた看板の写真を撮って送ってもらったりもしていました。下番に関しては、“終わるまで業務にあたってくださいね”という指示だけです。終わり次第すぐに報告書を事務所に持って来てください!と隊員には伝えていました。取引先に業務が完了したことを連絡するためには報告書が不可欠なためです。

全員がそろっているかどうかの確認も 毎回必要でとにかく手間がかかっていた

当時、隊員の管理についてどのような課題を感じていましたか？

警備業の管理においてもっとも大切なことは、“隊員が、決められた時間に決められた場所にいるかどうか”を確認することです。そのため、一人ひとりとLINEでやりとりすることに加えて、各現場で一番信頼のおける隊員に、“ちゃんと全員そろってる?”と確認を入れるのが常でした。そのため、毎回、上番の管理にすごく手間がかかることがひとつめの課題でした。

LINEの仕様上、過去の会話を遡って 確認することが大変だった

他にはどんな課題があったのでしょうか？

2号警備（交通誘導警備や雑踏警備）の仕事は常に同じ現場ではありません。そのため、たとえば8/6時点で8/21の仕事依頼がクライアントからあったとして、隊員に“21日にこの場所に行ってください”とLINEを入れます。その後、8/8に8/12、8/13、8/17の仕事が入ってきて、それぞれの現場の詳細LINEを入ると、8/21の詳細はかなり遡らないと確認できない状態になりますよね。しかも、8/21当日を迎えるまでの間にも、次の現場の詳細や、8/12、13、17の前日連絡、当日連絡も送り合わないといけないわけですから、お互いに確認が大変になります。

LINEでのやりとりの煩雑さを解消して くれて、かつリーズナブルなシステムを 探していた

その課題を解決できるシステムを探した結果、「プロキヤス警備」導入に至ったのですね。どのような点が導入の決め手だったのでしょうか？

システムを探す際には、まず、“LINEでのやりとりの煩雑さ”を解消してくれるかどうかをチェックしました。隊員が、エントリーしている仕事の集合場所・集合時間を、LINE画面を遡らなくても確認できることは必須でしたし、管理する側からすると、業務当日、一人ひとりの隊員が現場に到着しているかどうかをシステム画面上でまとめて確認できることが大切でした。また、当日、集合場所に到着した隊員がワンタッチで到着したことを報告できることも理想でした。これらの機能を兼ね備えたシステムを探したところ、弊社が求めている機能を有しているシステムはいくつかあることがわかったのですが、そのほとんどがコスト面に問題がありました。

初期費用、ランニングコストともに納得 できたのは「プロキヤス警備」だけだった

予算内に収まらなかったということでしょうか？

そうですね。たとえば、ランニングコストで年間数十万だったり、ID発行などの追加費用で結果的に10万円を超えたりと、とてもじゃないけど稟議が通りそうにありません。価格帯を知って困り果てていたところ、『プロキヤス警備』が段違いに手頃であることを知り、すぐに上に掛け合って導入を認めてもらいました。

「プロキヤス警備」を導入したことで 帰宅時間を大幅に前倒しできた

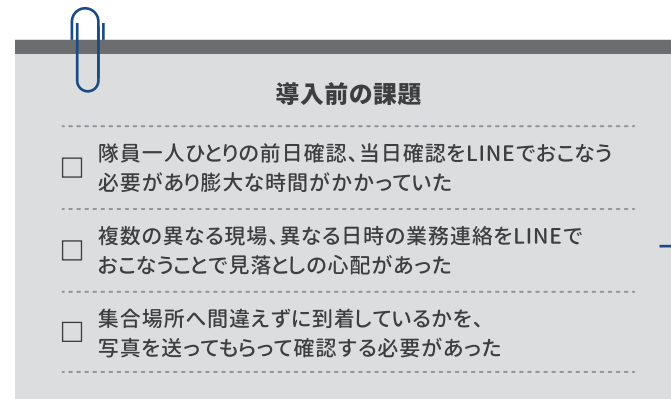
実際、「プロキヤス警備」を導入したことで隊員管理が楽になりましたか？

導入前とは全然違います。本当に楽になりました。以前は、すべての隊員に連絡し終えるころには19時前後となり当日の残務処理を行っている日付が変わることもしょっちゅうでしたが、今では夕刻には翌日の連絡等ができており19時、20時には余裕で帰宅できます。うちと同じような業務内容の会社にはぜひともおすすめしたいです。

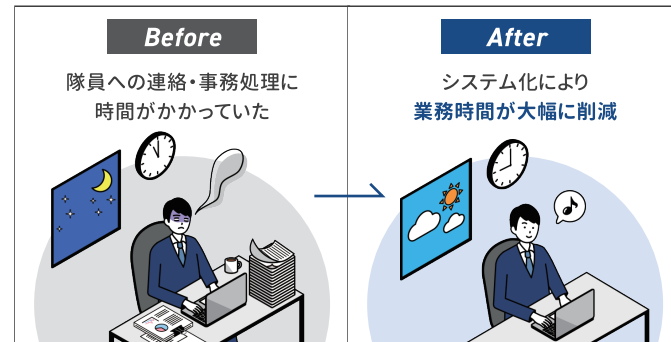
「プロキヤス警備」導入後、アプリを使い こなせるようになった隊員たちはみんな 嬉々として周囲にも自慢している

隊員を管理する側が問題なくシステムを使いこなせたとしても、隊員側が手間取るのという問題もあり得ると思いますが、その点はどうだったのでしょうか？

弊社の隊員の平均年齢は66歳で最高齢は82歳です。そのため、僕が『プロキヤス警備』を導入した!と最初に会社に掛け合った際は、“おじいちゃんたちがアプリを使いこなせるわけないだろう?”



隊員への連絡・管理がシステム化され業務時間が大幅に減少



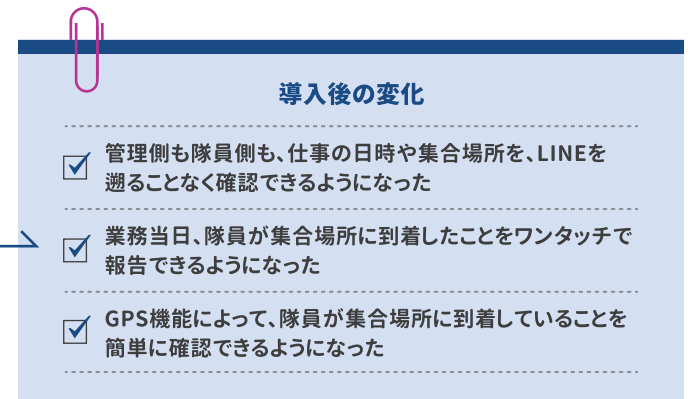
と一蹴されました。ところが、それでもごり押しして導入していただいた結果、みんな問題なく使いこなせることがわかったんです。他の警備会社様が導入を決めているのも同じ理由かと推測されるのですが、これだけは伝えたいのは、“おじいちゃんっていつまでも男の子なんです!”ということです。何を言いたいかというと、年齢を重ねても、みんな新しい機械が大好きなんです。でも、本人たちもそのことに気づいていないから、最初はアプリのインストールを嫌がるんです。それでも、“いいからちょっとスマホ貸してよ”と、インストールして説明すると、渋々使い始めたかと思いきや、みるまに新しいアプリを使いこなしているんです。

GPS機能があれば、集合場所を間違えて いる隊員がいてもすぐに気づいて教えて あげられる

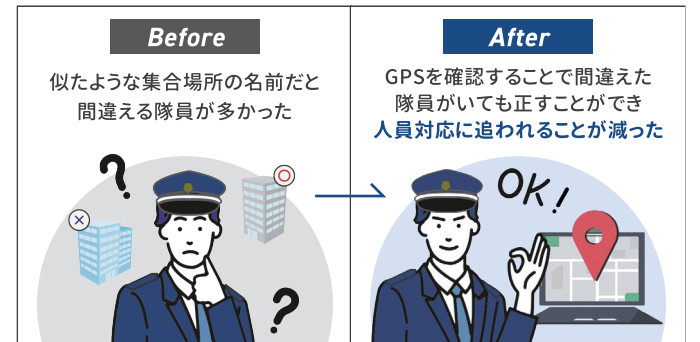
隊員のみなさんもアプリを使うことを楽しんでいらっしゃるんですね。

しかも、使い慣れてくると、“これで仕事の連絡がくるんだよ”って周りのみんなに自慢しだすんですよ(笑)それだけでなく、管理側で入力間違いをすると、電話してきて指摘してくるほどです。嫌がっていたわりにはウキウキで使ってるじゃない!と、こちらまで微笑ましくなります。アプリを導入して感じる大きなメリットは、GPSによって、間違いなく集合場所に到着していることを確認できるようになった点です。

以前は、たとえば銀行でいうと“●●支店”と“●●南出張所”のように、すごく似ている名前の場所に間違えて集合していることもあったのですが、正確な位置情報を確認できるようになったことで、トラブルを未然に防ぐことができました。



GPS機能で隊員の居場所が確認でき、集合場所間違いを削減



管理する側がシステムの操作に慣れたら、 社員のなかから一定数の「モニター」を 選んで試用してみるのがおすすめ

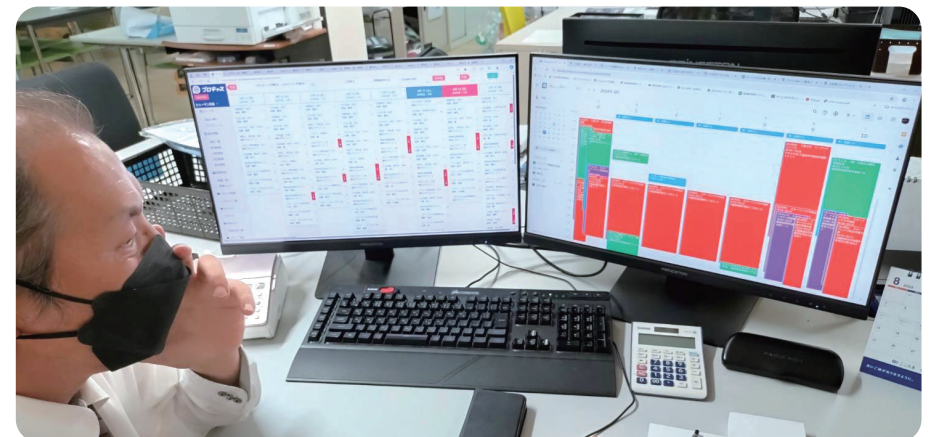
隊員のスケジュール管理で悩んでいる同業他社に「プロキヤス警備」をすすめるとしたら、どんな言葉ですすめたいか教えてください。

まず、“騙されたと思って6か月間使ってみてください”と言いたいです。なぜ半年かという、まずは管理する側が使い勝手に慣れるのに1~2か月かかると思うんです。その後、弊社が導入した際の過程を明かすと、まずは複数人の社員に“モニター”としてアプリをインストールしてもらってシステムを“試用”することで、よりわかりやすい表記方法などを見極めていきました。モニターの試用開始から3か月経ったあたりから、各地の隊員にもアプリをインストールしてもらい、そこから3か月経ったあたりで効果が見え始めたので、最低でも6か月は“お試し期間”と思って使ってみることをおすすめします。それで効果を感じなければ辞めればいいだけの話ですが、ほぼ間違いなく効果が出ますよ!と言いたいですね。

定年後も働いている人の多くは、新しい ことへのチャレンジ意欲に満ちている

ありがとうございます。年配の隊員様が楽しくアプリを使われているお話も大変参考になりました。

新しいものを使うことを心底嫌っている人って、変化を受け入れられないっていうことだと思うんです。でも、定年を迎えた後も警備の仕事をする人たちは、“生活費を得るため”という理由ももちろんあるとは思いますが、みんななにかしら、生活に彩りを求めているってことだと思うんです。自分にもまだできることがある、まだなにかやりたいと思っている人たちは、新しい世界を覗いてみたい、新しいものに触れてみたいとどこかしらで思っている。だから、ちょっとしたきっかけを与えてあげると、みんな案外楽しんで使ってくれるので、ぜひみなさんの会社の隊員さんにもそうした体験をさせてあげてほしいですね。



警備業界の有効求人倍率は「7.43倍」

人材不足が大きな課題！
DX化で解決できるのか？

警備業界の人材不足に関して、ここ数年大きな課題となっています。

求人数に対して求職者の数の割合を示す有効求人倍率に関して近年では、保安業が7.43倍となっています。

求人の数に対して求職者が非常に少ない状態に・・・(表1)

さらに警備業で働く隊員さんに対して、現在の離職・転職の意向についてアンケートを取ったデータでは、これまでに1度でも離職・転職を考えたことがあるという意見の回答を含めると8割弱となっており非常に多くの方が警備の仕事に対してのモチベーションが下がり気味であることがうかがえます。(表2)

モチベーションを上げるためには？人材を確保するためには？DX化が隊員定着の鍵！

クラウド管制システム「プロキヤス警備」を運営している株式会社シービーティーの平野隆之氏より、現状の課題感から、プロキヤス警備の活用による人材確保のポイントを聞きました。

※保安の職業には施設警備員や道路管理員、交通誘導員だけでなく、自衛官や消防官、警察官、海上保安官なども含まれます。



株式会社シービーティー

ひらの たかゆき

平野 隆之氏



プロキヤス警備はどういうところから
生まれたサービスですか？

弊社はもともと、業歴20年以上のイベント会社の経営をしている代表が作った会社です。

そのイベント会社では、自社でアルバイトスタッフを抱えておりイベント現場にスタッフを派遣していました。その際に現場の情報連絡をメールで行ったり、当日の起床や出発の確認を電話で行い、とんでもない時間と労力をかけていたそうです。

この時間と労力を無くすために自社システムとして「プロキヤス」というスタッフキャスティングシステムを作りました。

そもそも、自社の課題を解決するために作ったシステムということです。その後、パートナー会社に紹介する機会があり「うちにも導入したい」という声が広まり対外的にも販売を始めました。

その時、縁あって弊社の代表が警備会社の社長と知り合いプロキヤスの機能が警備会社でも有効に使えるそうだという話から導入をいただきプロキヤス警備として進化していきました。

プロキヤス警備の反応はいかがですか？

ありがたいことに多くの警備会社さんにご紹介させていただき「使いやすいそう!」という声をいただきます。導入企業さんからのご紹介もいただけ、口コミでも広がっていくようになっています。

商談をする中で、警備会社様から聞く
課題感はどうなことが多いですか？

どの企業さんからも、とにかく人手不足が課題という声を聞きます。厚生労働省の調べによれば保安業の有効求人倍率は直近だと7.43倍となっており求人の数に対して求職者が非常に少ない状態になっています。人材を集めたくても、なかなか募集に対して応募が来ないということが課題ですね。

警備業界の課題感に対して、
プロキヤス警備だとう解決できますか？

プロキヤス警備は警備会社の方、および警備員さんの両方の業務を楽にしてくれるシステムです。特に警備員さんにとっては簡単に仕事の連絡が受けられます。ある導入企業さんでは、働く警備員

さんが仕事に入るのが楽だということで友人に紹介し、その友人が新しく警備員として働きだしたということもあるようで警備員の定着と増加に杞憂しています。

プロキヤス警備の
今後の展望を教えてください

プロキヤス警備は警備業にとってなくてはならないシステムになることが最大目標です。

現在は上下番の管理などがメインですが、重要事項説明書や個別契約書の発行、教育実施簿などを発行できるようにし、立入検査時に必要な書類関係も発行できるようにします。

警備のDXなら「プロキヤス警備」と誰もが知っているようなシステムに成長させていきたいです。

HIRANO TAKAYUKI


プロフィール

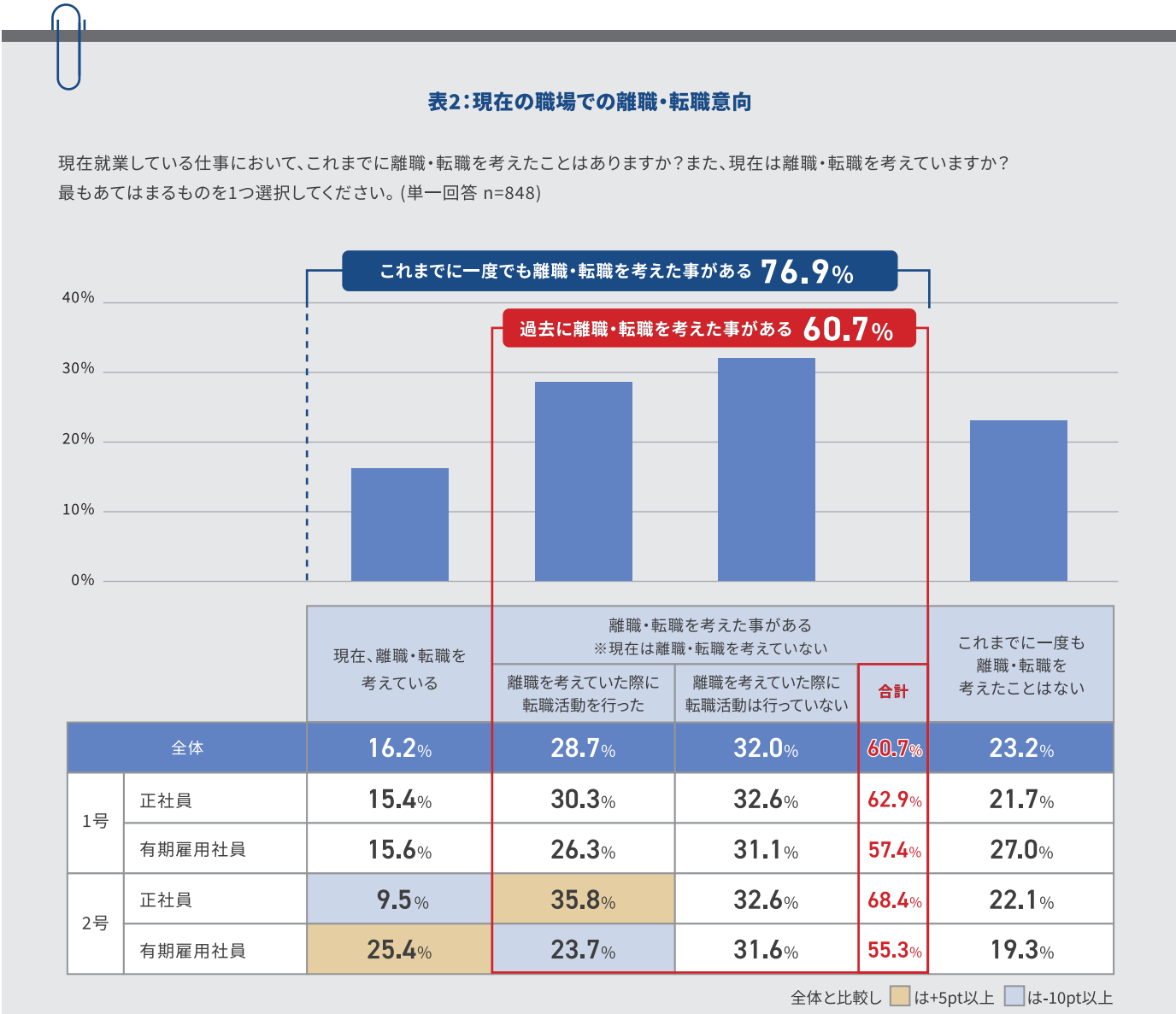
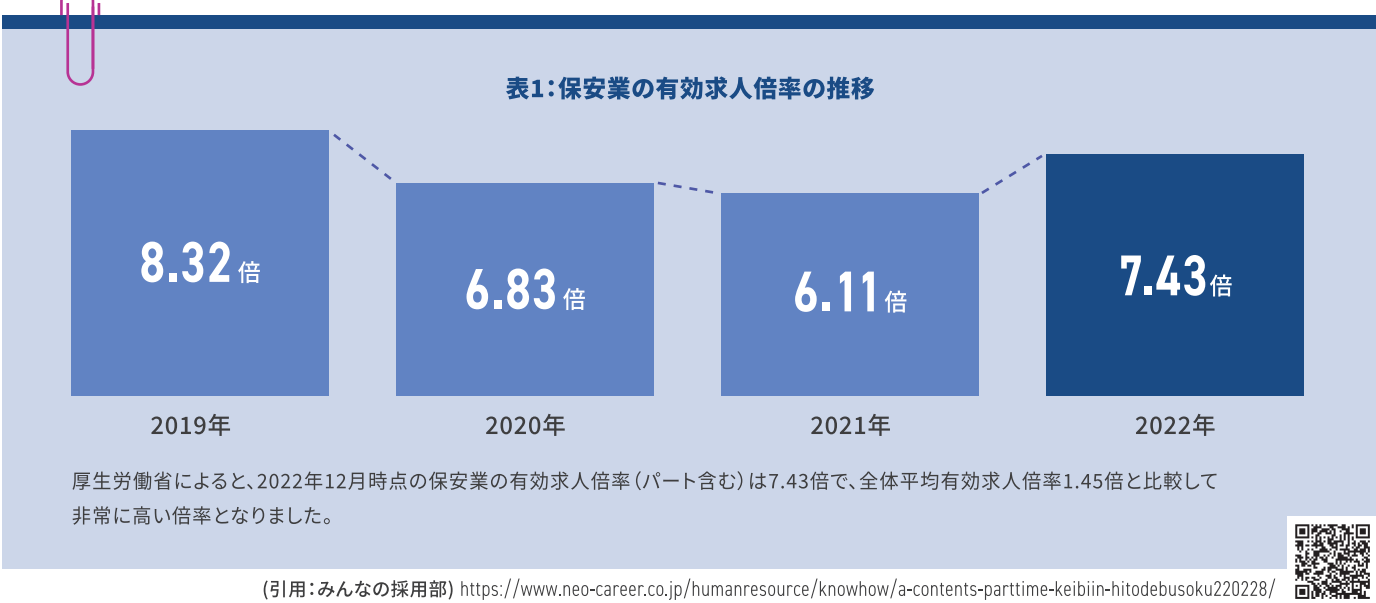
大学卒業後イベント会社に就職し営業をしながらイベントスタッフ手配などを経験、その際に人材手配の大変さを痛感。

その後、2021年に株式会社シービーティーに入社。

前職の経験を生かしスタッフや警備員の管理業務を効率化するシステム「プロキヤス」の販売に携わる。

現在は各地の警備業協会にて、警備業界のDXに関して講演を実施しアナログ管理から脱却し、業務の効率化を紹介している。





これまでに離職・転職を「1度でも考えたことがある人」は8割弱、「1度もない人」は2割ということが明らかになりました。

「1度でも考えたことがある人」のうち「現在は考えていないが、過去に考えたことがある」人は6割で、なかでも2号業務の正社員の割合が高く、全体+7.7ポイントとなりました。また、「現在考えている人」は16.2%で、2号業務の有期雇用社員に多く全体+9.2ポイントとなっています。

(引用:dip総合研究所) https://dip-soken.com/work/1Whwn0--?_fsi=8a9536Av&_fsi=TA0Byp4P